

市民の健康推進と医療費の抑制について

伊藤 厚子 議員(無会派)



伊藤議員 全国的にも医療費の増大が深刻な課題となつています。その対策として、レセプトの電子利用化で効果を上げていく呉市の取り組みが注目されています。電子化は、医療提供の重複化や

頻繁に外来受診をしている患者を抽出することに役立ち、適切な保健指導が可能となり、医療費の適正化や被保険者の負担軽減にもつながっています。当市でも、取り組みのいか伺います。

頻繁に外来受診をしている患者を抽出することに役立ち、適切な保健指導が可能となり、医療費の適正化や被保険者の負担軽減にもつながっています。当市でも、取り組みのいか伺います。

頻繁に外来受診をしている患者を抽出することに役立ち、適切な保健指導が可能となり、医療費の適正化や被保険者の負担軽減にもつながっています。当市でも、取り組みのいか伺います。



ジェネリック医薬品啓発パンフレット

- その他の質問項目
- 空き家活用事業
 - 子育て支援体制
 - 防災体制の強化
 - 小中学校の耐震化と防災、省エネ対策

能登有料道路(のと里山海道)と県道とのアクセスについて

杉木 勉 議員(灘会)



杉木議員 能登有料道路は「のと里山海道」に名称が変わり、無料化されます。現在、能登有料道路が通過している中島町土川地域は過疎化が進んでいます。この地域には主要地方道福浦港中島線と一

般県道土川浜田線が通っていますが、これがのと里山海道に直結することで市内への通勤が非常に便利になり、過疎化対策にもなるかと思えます。また、この地域は、志賀原子力発電所から半径10キロ圏内に位置しています。万が一志賀原発で何かあった場合、最短でのと里山海道に乗れることで避難が迅速にできるといふ利点もあると思いま

す。そういうことを踏まえ、県と交渉していただけないか伺います。

す。そういうことを踏まえ、県と交渉していただけないか伺います。



のと里山海道

- その他の質問項目
- 少子化対策
 - 和倉温泉を中心とした市内西エリア救急体制
 - 公設地方卸売市場

住宅リフォーム助成制度について

磯貝 和典 議員(無会派)



磯貝議員 全国の自治体で住宅リフォーム助成制度が広がっています。その数は、2012年7月現在で3県と530自治体にまで広がりました。県内でも羽咋市、津幡町、川北町で実施され、さらに

内灘町、能美市では実施を検討しています。この制度は、住民からも地元業者からも大変喜ばれており、当初予算では足りなくなり、追加補正する自治体が相次いでいます。羽咋市では、経済効果が11.5倍、津幡町では8.5倍と担当課では報告しています。そこで、羽咋市や津幡町での住宅リフォーム助成制度の経済効果についての感想を伺います。ま

た、七尾市でも実施に向けて決断すべきと考えますが見解を伺います。

た、七尾市でも実施に向けて決断すべきと考えますが見解を伺います。



各種住宅リフォーム支援のパンフレット

- その他の質問項目
- 金融円滑化法
 - 子ども医療費助成制度
 - 志賀原発
 - 生活保護
 - T P P
 - まりん号運行
 - 介護保険料
 - 新電力
 - 原発安全授業

原子力防災について

山添 和良 議員(市民クラブ)



山添議員 原発から30キロ圏内にある自治体の長として住民の安全安心を守るという視点で原発に関する学習を深めることも必要だと思えます。考

義だろうと思えます。脱原発を目指す市長会議に加盟することに関し、どのような考えなのか伺います。また、住民の安全安心を守るという点では、北陸電力との原子力安全協定の締結についての考えも伺います。さらに、県の原子力防災計画のうち30キロ圏内に住んでいる15万人の避難先の計画が発表されました。七尾市民の避難先が2カ所に分

かれたことに対しての思いを伺います。

やかに原発から遠ざかる方向に避難することは、極めて現実的な対応だと思えます。能登町に避難した市民の南側への二次避難は、県地域防災計画の修正案に海路、空路などあらゆる手段の確保を図ることが盛り込まれています。分かれて避難しても早い段階で南側の金沢市及び野々市市の施設に避難ができるようになるかと考えています。



志賀原子力発電所

- その他の質問項目
- 統合中学校の適正規模
 - 就学支援事業
 - 図書館ネットワーク
 - 障害者雇用